

- 1 日時 2025 年 11 月 29 日（土）
- 2 会場 伊保スポーツ広場
- 3 主催 一般社団法人兵庫県サッカー協会第 4 種委員会
- 4 主管 東播サッカー協会第 4 種委員会
- 5 参加資格

日本サッカー協会第 4 種に加盟登録した団体及びその団体に所属する選手で日本サッカー協会発行の登録選手証を有し試合開始前に提出出来、20 歳以上で、かつ公認 D 級以上の資格を有した指導者がベンチに入ること。

- ・選手は、必ずスポーツ障害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること。
- ・参加費：11,500 円（徴収済）
- ・参加チーム数：▲9 チーム

【参加チーム】

1. アミザージ神野 SC 2. AC 高砂ジュニア 3. 高砂ミネイロジュニア 4. 播磨 SC 5. パルセイロ稲美 FC
6. 兵庫 FC 7. 平岡 FC 8. 平岡北 SC 9. フロール FC

6 大会形式

- ・試合人数：8 人制
- ・ノックアウト式トーナメント（同点の場合は 3 人制の PK 方式にて勝者を決める。決勝戦のみ同点の場合 10 分間（5 分-5 分）の延長戦を行い、なお決しない時は 3 人制の PK 方式にて勝者を決定する）

7 競技方法

- ① 日本サッカー協会競技規則「JFA8 人制サッカー競技規則」による。

但し、以下の項目については大会規定を定める。

- ・試合時間：36 分（12 分×3）①12 分（1 分）②12 分（5 分）③12 分
- ・インターバル（3 ピリオド間）第 1 ピリオドと第 2 ピリオドは選手交代に要する時間のみ（おおよそ 1 分）とし、第 2 ピリオドと第 3 ピリオドは 5 分間とする。
- ・エンドの決定：第 2 ピリオド後もエンドを替え、約半分が経過したところでサイドチェンジする。
タイミングは審判にゆだねる（再開方法はキックオフとする）

- ② 選手の交代方法

- ・競技者の数は、常に 8 人（うち 1 人は GK）とする。
- ・原則、選手全員が 1 ピリオドを通じて出場する。
- ・第 1 ピリオド出場予定の 8 人、第 2 ピリオド出場予定の 8 人と、その他交代要員をあらかじめ明確にする。
- ・交代要員を含め同一選手の出場は最大で 2 ピリオドまでとし、3 ピリオドすべてに出場することは出来ない。
事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場選手が 11 人以下になったときに限り、1 試合で 3 つのピリオドに出場することを認める。（延長戦はピリオドに含まない）

【第 1 ピリオド】

- ・予め決められた、第 1 ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の、事故、ケガ等で交代する場合は、交代要員が出場する。
交代要員：提出したメンバー表に出場印が付いていない選手
- ・交代選手全員が事故・ケガ等で出場困難となった場合に限り、第 2 ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は、再び出場することは出来ない。（＝自由な交代ではない）

【第 2 ピリオド】

- ・予め決められた、第 2 ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の、事故・ケガ等で交代する場合は、交代要員が出場する。第 1 ピリオドで交代して出場していても出場は出来る。
- ・交代選手全員が事故・ケガ等で出場困難となった場合に限り、第 1 ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）

【第 3 ピリオド】

- ・第 1、第 2 の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。（＝自由な交代）

【延長戦】

- ・交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。（＝自由な交代）

③ 試合球 日本サッカー協会公認4号ボールとする。

④ 登 録

- ・選手登録人数は、16名以上25名以下とする。＊注）GKは必ず2名は登録すること。
- ・登録できる選手は、5・4・3年生とする。（兵庫県大会以上は5年生以下）
- ・試合開始時に、選手16名が揃わない時は得点を0対3として敗戦したものとみなす。
但し、2試合目以降の試合開始前または試合中のケガ等により選手が12名に満たなくなった場合も同様に敗戦したものとする。
- ・選手証の確認できない選手はベンチ入り出来ない。

⑤ 反則退場

- ・本大会中警告は累積し、累積警告が2回になった選手および同一試合で2回の警告により退場になった選手は、本大会の次の試合に出場できない。
- ・試合中退場処分を受けた選手は、自動的に本大会の次の試合の出場を停止する。
- ・その他不祥事により協会の名を汚した場合は、規律フェアプレー委員会で処分を決定する。

⑥ ユニフォーム

- ・ユニフォームは、GKを含む出場選手全員必ず色違いを2セット（シャツ・パンツ・ソックスで1セット）用意すると共に、背番号は今大会期間中統一した番号を使用すること。
- ・試合当日、2組のユニフォームを用意していないチームは棄権とする。
- ・FPがGKをする場合は、基本的に確認事項とする。

⑦ ベンチに入ることが出来る人数：13名以内（交代要員10名以内、引率指導者3名以内）

⑧ ベンチに入る指導者は公認指導者資格を有し、ネックストラップにライセンス証を入れ、首から下げておくこと

⑨ 審判員：主審・副審・第4審で行う（割り当てによる指名）

⑩ 雨天時

- ・雨天決行。但し、天災、警報等（開催地での気象など）で開催が危ぶまれる場合は、東播4種委員会で協議し決定する。
- ・大会中急な天候の変化による落雷等の危険性が高まったときは、直ちにその試合を停止し平穏になってから再開（リスタート）する。再開方法は、当日と同様のリスタートとする。

8 規律フェアプレー

大会参加選手および指導者は、競技規定を遵守し、JFAサッカー行動規範に則り大会に臨むこと。

- 1) 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対してもリスペクト精神と態度で臨むこと。
- 2) 応援者（含、保護者）は、少年スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること。

9 表 彰

- 1) 優勝・準優勝にトロフィーを授与する。
- 2) 優勝チームには、全国小学生選抜サッカー2026 IN HYOGO への出場資格を与える。

10 疾病予防

- 1) 選手・指導者は、身体に異常を感じた場合、参加出場することのないようにすること。
- 2) 負傷した時の処置は、協会は一切の責任を負わないので当該チームが責任をもって行うこと。

11 大会の問い合わせ（但し、出場チーム代表から問い合わせてください） 東播4種委員長 三谷英司